

ソトコト×スタジオクーカの2012カレンダー付き!

ロハスピープルのための快適生活マガジン

ソトコト

S O T O K O T O

I

January 2012

No.151

特別定価 840YEN

特別付録



ソトコト×スタジオクーカ
2012カレンダー

愛のギフト大特集

ベスト・オブ・

社会をよくする お買い物モノ



shopping for
a better world

ゴミ、捨てんなよ!



しなやかに食器の汚れをぬぐってくれる。

ペンギンスクレーパー(ブルー)
マーナ / 500円
tel.03-3829-1111

環境 未来 075

気軽に簡単に水のムダ遣いを減らせるところが気に入っています。

食器洗いの前にベタベタ汚れをひとぬぐい、排水口やスポンジの汚れを防いでくれる。頭の部分で硬くなった汚れを、しっぽ部分では細かい部分を洗うように工夫されている。実は調理時にも役立つ。「団子などを作るとき、容器から材料をムダなく集めることもできます」と佐藤玲さん。色違いで「何匹」もほしくなってしまいそうだ。



耐熱温度100℃。サイズは約76×113×5mm。



佐藤 玲
さとう・れい ●アーティスト。独自の温かさが漂う特異な作風が特徴。NYや台北での個展開催、グッゲンハイム美術館の音楽劇でアートディレクションを務めるなど世界で活躍。近日、作品集が発売予定。

©Kurage Kikuchi

事実を正しく知るための道具。

TERRA MKS-05
ECOTEST / 11万5500円
tel.0120-81-2166(販売:フジテックス)

環境 未来 077

「世界」をよくするために
「世界」をよく知りたいので。

被災地の実家に行き来しつつ関東に住む須藤シンジさんが「今年一番お世話になった」というモノが「ガイガーカウンター」。累積積算線量も測っているという。「生きる責任を負うのは、最終的に一人ひとりの個人。正しい事実を知り、自ら判断し安全を担保するために必須の一品」。チェルノブイリ原発事故があったウクライナ製、日本語の説明書つき。



150g(電池別)。表示窓が大きい新モデルもある。



須藤シンジ
すどう・しんじ ●フジヤマストア、ネクスタイド・エヴォリューション代表。「ビープル・デザイン」という発想で、障害の有無を問わず着こなせるアイテムやイベント等をプロデュース。http://www.nextide.net/

モダンなデザインが空気を変える。

手ぬぐいうちわ
永楽屋細辻伊兵衛商店 / 735~3675円
tel.075-256-7881(本店)

環境 文化 080

「かわいい」という動機で購入したが
実は究極のクリーンエネルギーです。

江戸時代に呉服商として創業のてぬぐい専門店「永楽屋」による「ポップな伝統工芸」。モダンな柄の手ぬぐいと「京うちわ」が融合した。嶋浩一郎さんはオフィスで年中愛用中。オフィスの暖房が利き過ぎるという人にもおすすめしたい。破れない限り数年間も使える。「人の力」(最強のクリーンエネルギー!?) が活用できるのは最高!!

エアコンいらず。
真似したくなる
オシャレな省エネ。



「和柄なのに、なぜか洋服に合う」とは店員さんの弁。



嶋 浩一郎
しま・こういちろう ●クリエイティブディレクター、編集者。1993年博報堂入社。2003年「本屋大賞」を立ち上げ。06年、博報堂ケトル設立。カルチャー誌「ケトル」(太田出版)編集長。http://www.kettle.co.jp/

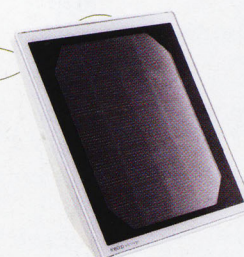
コードのわずらわしさから解放される。

eneloopソーラー充電器セットN-SC1AS
三洋電機 / 2万円前後※受注後約3か月かかる場合も
tel.0120-34-0520

環境 未来 074

「物事をシンプルに」と
見る度に教えてくれるからです。

ACコード不要の本格ソーラー充電器。太陽の光で単3形・単4形の充電電池を急速充電してくれる。外部へ出力できるUSB端子も装備。デザインもハイセンスだ。「窓辺に置き、マウスや電話の子機などの充電に使っています。事務所内の電池は全部、太陽光発電です」と酒井俊彦さん。「物事をシンプルに」という思想を体現する一品だ。



発電ロスの少ない「HIT太陽電池パネル」を搭載。



酒井俊彦
さかい・としひこ ●プロダクトデザイナー、サカイデザインアソシエイツ代表。現在、ロゴから工場までを丸ごとリニューアルするメーカーのブランディングや、「sample」プロジェクトのプロデュースなどを行っている。

業務用だけでなく家庭菜園向けの手軽なものも。

グリーンハウス
tel.0120-81-2166(販売:フジテックス)

環境 文化 076

一年を通して有機野菜を育てたい!
その願いを叶えてくれたハウス。

合成樹脂材・金属パイプなどで骨組みを作り、その上を透明なビニールで覆った農業用の小屋。農作物の育苗や栽培に広く用いられる。さまざまなサイズがあり、量4量分の小さいものなら6万円程度と手頃。「冬でも野菜が作れるし、害虫の被害も抑えられるので、無農薬栽培が可能だ。特に、雨に弱いトマト栽培には最適ですね」とジェイコブ・ライナーさん。



奥行きが5mほどのハウスは家庭菜園用にピッタリ。



Jacob Reiner
ジェイコブ・ライナー ●Eden Homes代表。建築家。米コーネル大学卒業後、1993年に来日し、2000年に山梨県へ。精進湖周辺の集落で明治時代の古民家群に出会い、そのリフォームと販売を行う。

途上国の子どもたちとケーキを分かち合う。

ラブケーキプロジェクト
ワールド・ビジョン・ジャパン / 3000円前後
tel.03-3367-7253

海外 未来 078

貧困に直面する子どもたちを
思い起こさせてくれるから。

「最初から足りない1ピース分の金額を、ケニアの食料支援のために寄付できる」。そんな趣向のホールケーキが、全国約100店舗で発売される(一部で通販あり)。2011年で3年目の試みだ。「ケーキを作るパティシエと、ケーキを買う私たち。共に参加できるの嬉しい」と砂田麻美さん。お味はもちろん目にも楽しいケーキが勢揃いする。



©ワールド・ビジョン・ジャパン
各店舗、趣向をこらしたデザインが用意される。



砂田麻美
すだ・まみ ●大学卒業後、映画製作スタッフ、監督助手として『市川崑物語』『歩いて歩いて』等に携わる。初監督作品『エンディングノート』が全国公開中。http://www.ending-note.com/

1冊300円、うち160円分が販売者の収入に。

ビッグイシュー日本版
ビッグイシュー日本 / 300円
tel.06-6344-2260

福祉 未来 079

ホームレスの自立をサポートできて
社会課題を考えることもできるから。

1991年ロンドン生まれ、日本では2003年創刊のホームレスの自立支援の雑誌。路上でホームレスが販売する光景を目にしたことのある方も多いだろう。社会的弱者をはじめ、多様な視点に立った記事が特徴的。「雑誌を購入する行為を通じて、社会課題について考えるきっかけになる。視点を変えるのにつけて」と早田吉伸さんは言う。



北海道から鹿児島まで、主要駅前などで販売。



早田吉伸
そうだ・よし のぶ ●内閣官房政策スタッフで地域活性化政策に従事。地域に必要なのは編集力/デザイン力と、cut-jp発足。「SOCIO design note」などのプロジェクト展開、同名WEBマガジン編集長も。